

里海通信

能登町立小木小学校

令和5年5月10日

今年度も各学年で行っている海洋教育を里海通信でご紹介していきたいと思ひます。海洋教育とは「海に関する学習」です。本校ではこの海洋教育を通して、小木の大切な資源である海そのものに興味・関心を高め、地域の良さや問題点に気づく学習を進めることで、今よりもっと小木の町に愛着をもてるようになることを目指しています。

本校の海洋教育は、①海に親しむ ②海を知る ③海を守る ④海を利用する の4つの視点で取り組んでいます。詳細につきましては以下をご覧ください。海洋教育は、低学年は生活科、中・高学年は総合的な学習の時間をつかって行います。また、高学年は「里海科」という教科を特例として文部科学省の認可を受けて取り組んでいます。

I. 海洋教育について

A海に親しむ

- ・海を体験しよう
- ・漁師の仕事体験しよう
- ・海に関わる仕事を見学しよう
- ・海に関わる活動を体験しよう

B海を知る

- ・海の魚について調べよう
- ・海の植物について調べよう
- ・海の生き物の誕生を調べよう
- ・海の生き物の関連について調べよう
- ・海を通じた文化交流の歴史を調べよう
- ・海流や潮の満ち干、海底の地形について調べよう

C海を守る

- ・日本の水産業と海洋環境について調べよう
- ・地球温暖化と海の変化について調べよう
- ・海の環境の変化と生き物の暮らしについて調べよう
- ・人々の暮らしが海洋に及ぼす影響について調べよう

D海を利用する

- ・日本の水産業について調べよう
- ・日本の海運について調べよう
- ・世界の海運について調べよう
- ・世界の結びつきと海運の動きについて調べよう
- ・日本の海洋でのエネルギー開発について調べよう

今年度の海洋教育の研究主題

海に親しみ「ふるさと」にはほこりと愛着を持つ児童の育成
～課題意識をもち対話を通して探究する児童～

海洋教育研究を推進し、児童の学力向上につながるよう、力を合わせて研究を進めていきたいと思ひます。今年度もよろしくお願ひします。

里海遠足

釣り活動

午前中は全校縦割りで「釣り活動」に取り組みました。釣りは自然相手の遊びです。ただ楽しいだけでなく、雨や波など危険とも隣り合わせです。今年の釣り活動は、晴れてはいましたが風との戦いとなりました。海から吹く風に寒いと感じる児童もいましたが、竿を持てば集中して魚のあたりを待ちました。残念ながら全体での釣果は2匹となってしまいましたが、自然の楽しさと厳しさを味わうことができました。



磯の生き物観察

1・2年生はのと海洋ふれあいセンターで磯の生き物観察の学習をしました。ヤドカリや貝、ウニの殻、蟹も観察しました。どんな場所に隠れていたか、どんな動きをするのかなど、実際に見てみないと分からないことがたくさんあって、「もっと観察したい。」という気持ちになりました。



ランプシェード



予定していた大型カーン体験は悪天候のために実施できませんでしたが、代わりにランプシェードクラフト体験をしました。貝殻、シーグラスなどを巧みに使い、上手に飾りつけをしていました。個性的で素敵な作品が仕上がりました。